



一般社団法人播磨薬剤師会

事業名「ママサポート会」

播磨薬剤師会では、兵庫県薬剤師会と神戸薬科大学の協力を得ながら、就学前の乳幼児をお持ちの保護者の方を対象に、ママサポート会を開催しています。名前は「“ママ”サポート会」ですが、パパやおじいちゃま、おばあちゃまも参加していただいています。

高砂市では子育て支援センターさまの、加古川市では加古川駅前子育てプラザさまと東加古川子育てプラザさまの施設をお借りし、定員15～20名で、約1時間半開催しています。毎回テーマを決めてお薬の使い方や脱水時の経口補水液の使い方のお話をしたあと、1グループ保護者3～4名と薬剤師1名のグループを作り、日ごろ困っていることをお聞きしてご相談に 응じています。また、神戸薬科大学のご協力をいただいた子育て支援ブックを配布したり、兵庫県薬剤師会が監修した子供用のお薬手帳の使い方をお話したりして、困ったときどうしたらよいか、どこに相談したらよいかというアドバイスもしています。

稲美町では「子育て学級コロボックルの会」に年に3回参加させていただき、毎回30分程度、お薬の使い方のお話をさせていただくなど、各団体のご要望に沿う形で開催しています。いずれの会でも、最後には個別相談の時間をとって、グループの中では話しづらかった方のご相談にも応じています。

長時間労働による男性の子育てへの不参加や核家族化などが原因で、女性の子育ての孤立化が叫ばれている昨今、少しでも子育て中の保護者の方に寄り添えるよう、今後もこの活動を続けていきたいと思えます。



報告者： 笠谷 君代